

プレーパークの展開に向けた検討について

1 目的

子どもの好奇心を大切にし、自由にやりたいことができる遊び場を充実させることによって、屋外での自由な遊びを通して得られる様々な体験や交流から子どもの自主性や主体性、社会性やコミュニケーション能力を育むとともに、地域の交流を促進させる。

2 プレーパークの展開に係る方向性

- 区内全域でプレーパークを展開していくためには、各地区の特色・資源等を生かし、地域に根ざした活動を行う団体を育成し、これを支援していく必要がある。
- 地域におけるプレーパーク活動に比べ、より幅広い遊びに対応するとともに、それらの活動に対して、ネットワークの中心となり、運営支援や人材養成、人的交流、ノウハウの共有等を行うほか、プレーパークの普及啓発を担う中核となる拠点を整備していく必要がある。
- 子どもの想像力や工夫をこらした遊びの支援を継続的・発展的に実施するとともに、安全確保等を適切に行うためのプレーリーダー等を養成していく必要がある。

3 今後の検討

地域におけるプレーパーク活動の充実を図るため、地域団体の自主性・自発性を基礎とし、各地区の特色・資源を生かした地域に根ざした活動を支援するための助成制度を検討するとともに、プレーリーダー等を養成するための取組を検討する。

なお、区では公園利用ルールの見直しにおいて、公園の立地条件や特性を踏まえ、地域の理解や協力を得ながら、プレーパーク事業等の支援を行うための新たな公園利用の提案制度を検討している。

また、区内のプレーパーク活動の拠点となる施設の整備に向けて、全庁的に検討を進めていく。